

平成29年度景観研修実施要領 ※共催

■目的

実務者に必要な景観に関する基礎的な知識の習得を図る。

■対象者

建設業および測量設計業、造園業に従事する民間の技術者。

※受講対象者以外の方でも受講できますが、研修内容が専門的であることを申し添えます。

■募集人員

15人

※定員を超える申し込みがあった場合は締切前であっても募集を終了し、申し込みされましても受講できない場合がございますので、ご了承ください。

■研修期間

平成29年9月27日(水)～28日(木) 2日間

■場所

宮崎県建設技術センター(宮崎市清武町今泉丙2559-1)他

■講義内容 (別頁参照)

■申し込み方法

「研修受講申込書」に必要事項を記入のうえ、メールもしくは郵送、FAXでお申し込みください。

※詳細はホームページをご覧ください。

■申し込み締切

平成29年8月28日(月)

■研修経費および納入方法

(1)研修経費

一人当たり 7,000円(昼食代2日分を含む)

(2)納入方法

納入先の口座番号および納入期限を明記した受講票を、8月29日～31日の間にメールもしくはFAXにて送信しますので、受講票確認後期限内に納入ください。

※納入は、すべて銀行振込となります。当日現金での納入はできません。

受講票が平成29年8月31日までに届かない場合は必ずお問い合わせください。

受講票の発送状況は、推進機構のホームページでご確認ください。

業務の都合等で受講できない場合は、代わりの方が受講してもかまいません。

■取り消し・返金について

①平成29年9月15日(金)までの取り消し 受講料から振込手数料を除いた額を返金

②平成29年9月19日(火)以降の取り消し 返金できません(ただしテキストを郵送します)

■申し込み先およびお問い合わせ先

(公財)宮崎県建設技術推進機構 土木課 企画研修システム担当

〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号 企業局庁舎5階

TEL 0985-20-1830 FAX 0985-20-1850

メールアドレス info@mk-suishin.or.jp

ホームページ http://www.mk-suishin.or.jp

※宮崎県建設技術センターへのお問い合わせはご遠慮ください。

■持参品

筆記用具、三角定規、デジタルカメラ、三角スケール

■受付日時

平成29年9月27日(水) 9時15分～9時45分(宮崎県建設技術センター)

※本研修は(一社)建設コンサルタンツ協会継続教育(CPD)のプログラム認定研修です。

(一社)宮崎県建築士会(建築CPD)を申請中です。

平成29年度景観研修概要 ※共催

【概要】 ※日時、予定人員、内容等は変更となる場合がございます。

期 間	平成29年 9月27日(水)～ 9月28日(木) 2日間					
場 所	1日目:宮崎県建設技術センター(宮崎市清武町今泉丙2559-1) 2日目:青島亜熱帯植物園					
目 的	宮崎県では公共事業における景観形成の取り組みを積極的に推進することとしています。 今回の研修はそのために必要な景観設計に関する専門的知識の習得を図るものです。					
対 象 者	建設	○	法面	—	測量設計	○
	地質	—	造園	○	その他	(県・市町村職員)
予定人員	15人					
主 催	宮崎県建設技術センター、公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構					

【時間割】

月日	曜日	時間	教科目	講師
9月27日 会場: 宮崎県建設技術センター	水	9:15～9:45	受付	
		9:45～10:00	開講式・オリエンテーション	
		10:00～12:00	『風景自慢・自己紹介』	福岡大学工学部 社会デザイン工学科 景観まちづくり研究室 助教 石橋 知也 氏
		13:00～14:30	『風景のとらえ方』	
		14:30～16:00	『風景のつくり方』	
		16:00～17:00	演習内容の説明及び自由討議	熊本大学工学部附属 革新ものづくり教育センター 特定事業研究員 増山 晃太 氏
9月28日 会場: 青島亜熱帯植物園	木	9:00～9:30	演習内容の説明(復習)	
		9:30～10:45	現地調査	
		10:45～12:00	ポイント整理	
		13:00～15:30	各班討論・討議、 ポイント整理、プラン図作成	
		15:30～17:00	成果発表、講評	
		17:00～17:15	受講証交付	

【内容】

講義名	内容
『風景自慢・自己紹介』	・各自で事前に「土木構造物を含む地域の美しい風景」を念頭に写真を撮影する。 ・撮影した写真をもとに、その風景についてディスカッションを行う。
『風景のとらえ方』	○ 対象地の地形や歴史を景観として読み解くことの重要性について学ぶ ・地図の縮尺とスケール感に応じた風景の読み方 ・地形を風景として読む ○ 視点場を正しく理解する。
『風景のつくり方』	○ 通常業務において、景観に配慮することの必要性について学ぶ。 ○ 現地調査において共有すべき内容(必要条件)について学ぶ ○ 景観に考慮した事例について、景観設計のアプローチについて学ぶ。 ○ 公共工事における景観、視点場の捉え方について考える。
『演習』 ～青島駅と青島神社をつなぐ回遊性の向上～	既存の整備道路と交差点、参道の改良を主とした、青島地区の回遊性向上の方針を、景観という視点で分析する。分析結果を現地の「読み解きマップ」にまとめ、設計のために必要な、「整備の目標」、具体的な「設計の方針」を作成する。 ○ 各班(4～5名)で青島地区の現地調査を行う。 ・景観(視点場)を意識して景観チェックを行う。 ・良い景観、悪い景観について考える。 ○ 現地調査後、どこが良いのか、どこが悪いのか、討論・まとめを行う。 ・ブレインストーミング(必要に応じKJ法)による情報の共有 ○ 各班、発表を行い、講評を含め全体討論を行う。

平成29年度景観研修

NO. _____

平成29年9月1日 現在

会社名						
フリガナ						年齢
氏名						歳
会社住所	〒					
会社電話番号						
会社FAX番号						
代表e-mailアドレス						
緊急連絡先 (携帯電話等)						
経験年数						
主な経験分野	河川	海岸	道路	橋梁	舗装	トンネル
	砂防	地すべり	急傾斜	公園	ダム	下水道
	水道	建築	その他	()
主に経験した分野に○をつけてください。(複数回答可) その他に○をした方は、その分野を具体的に記入してください。						
※11桁の建築士会CPD番号(または建築士番号または施工管理技士番号などいずれか1つ)						

※建築士会CPDの申請に必要ですので、希望される方は氏名のフリガナ・CPD番号など必ずご記入ください。

- | | |
|-----|--|
| 記入例 | <ul style="list-style-type: none"> ・建築士会CPD参加者、または建築施工管理技士…11桁のCPD番号(例:00001234567) ・一級建築士…番号のみ(例:1234567) ・二級建築士…二十登録県名+番号(二宮崎987654) ・木造建築士…木+登録県名+番号(木宮崎987654) |
|-----|--|

上記のとおり研修の受講を申し込みます。

(公財)宮崎県建設技術推進機構
土木課 企画研修システム担当

行き

■申し込み先およびお問い合わせ先

(公財)宮崎県建設技術推進機構 土木課 企画研修システム担当

〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号 企業局庁舎5階

TEL 0985-20-1830 FAX 0985-20-1850

メールアドレス info@mk-suishin.or.jp

ホームページ http://www.mk-suishin.or.jp

※宮崎県建設技術センターへのお問い合わせはご遠慮ください。

※研修受講申込書に記入された個人情報、研修業務を円滑に実施するために利用するもので、それ以外の目的では使用しません。